

日刊建設産業新聞（2016年9月26日付2面掲載）

【ACKグループ 第11期戦略会議を開催 来期以降の経営計画共有】

### 第11期戦略会議を開催

来期以降の経営計画共有

ACKグループは15日、「第11期ACKグループ戦略会議」を開催した。写真。グループ各社の社長、経営幹部や、次

ACKグループ

世代の経営幹部候補社員で構成する経営計画策定・推進検討会の委員が参加し、「中期経営計画ACKG2013強化」に基づいて策定した、ACKグループとグループ各社の来期以降の経営計画である「第12期（17年9月期）及び13力年経営計画」の共有を行った。

最初に、第11期の業績が目標を達成する見込みのため、「中期経営計画ACKG2013強化」で掲げた、2020年に向けた業績および成果目標を変更せず継続することを説明し、グループ各社の社長、経営幹部等と共有した。

続いて、第11期の業績見込みの詳細として、受注高は、海外が好調であったことなどを要因として、期首計画を上回る見込みであることなどを報告した後、「ACKグループ第12期及び13力年経営計画」の内容を説明し、グ



グループ各社の社長、経営幹部等と共有した。3力年経営計画におけるACKグループ（連結）業績

目標値では、第14期（19年9月期）に売上高480億円、営業利益17億8000万円、営業利益率3・7%を掲げている。また、「中期経営計画ACKG2013強化」で定めた3つの強化方針を二層推進するため、グループ各社が重点化プロジェクトを協働して実施する「重点化事業（企業）連携」、グループ各社が地域毎で協働する「地域（日帯）連携」に関する成功プロジェクトの事例、および第12期の連携方針について発表、討議を行った。

野崎秀則社長は、最後に、「グループ会社での連携は、量だけでなく質も向上しつつあり、顧客のニーズが高まっている総合化、複合化の期待に応え、社会に貢献していく必要がある。そのためには、さらなる『各社の個の強化』『連携の強化』『人材の交流』が重要である」と締めくくった。